

## 県立学校振興計画推進事業（進学指導研究推進プログラム）の取組

地元の県立学校から第一希望の大学等に進学できる指導体制の構築、及び生徒一人一人の学力向上を目指し、学校や地域の状況、学科の特徴に合わせた進学指導の方法を研究するとともに、知識だけでなく、思考力や表現力、学びに向かう力など「真の学力」をバランスよく身に付けたたくましい人材の育成を図るため、昨年度から本事業を実施しています。

各校が特色を生かし互いに切磋琢磨しながら指導力の向上に努め、県立学校全体の進学指導力の底上げにつなげています。

### 1 モデル校（12校）

モデル校では、国内外の教育機関と連携した授業実践による学力向上の支援に関する研究や、探究学習の成果を生かした進学指導の研究のほか、STEAM教育の実践や大学入学共通テストに対応した問題の作成などの研究を進めています。

#### 先導的授業実践型（教科指導の強化）

- ① 新居浜西高校
- ② 西条高校
- ③ 松山中央高校
- ④ 松山西中等教育学校
- ⑤ 内子高校
- ⑥ 宇和島東高校



#### 探究学習実践型（探究学習等の成果の活用）

- ① 三島高校
- ② 今治西高校
- ③ 東温高校
- ④ 伊予高校
- ⑤ 大洲高校
- ⑥ 八幡浜高校



### 2 授業実践（公開授業）

#### 実践例① 先導的な授業実践による学力向上の支援に関する研究

自らの夢の実現に向けて、高い志を持ち、学力向上に取り組む生徒を後押しすることができるよう、指導力向上に向けて、モデル校のターゲット・ティーチャーを中心に公開授業を実施しています。（写真は、日本史と生物の教科等横断型授業の一場面）



#### 実践例② 多様な学習形態に対応できる学科横断型学習教室の活用に関する研究

学科や教科の枠を超えた横断的な学びの深化を目指して、従来の教室とは異なる流動的かつ可変的な空間構成のできる教室の整備を進めており、同教室で展開される新たな学びの形を研究しています。（写真は、外国語の授業の一場面）

